

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	平和施策						継続					
コード	24	-	10	-	01	-	00	予算事業名	平和施策			
担当部署	総務部	総務課	総務担当	予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	実施計画事業名	平和施策	
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	なし	
施策	2	平和で思いやりのある地域社会づくり	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	3	平和意識の高揚			
事業実施の根拠となる法令・条例等	平和基金条例				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民を対象に、平和を愛する心を育む社会づくりを推進するために実施する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	平和標語の募集・表彰を行います。広島平和記念式典へ市民代表を派遣します。原爆写真展を開催します。埼玉県平和記念資料館及び丸木美術館の見学会を実施します。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	1,116	1,115	1,353	1,370	1,086	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	主に、広島平和記念式典参加者減に伴う旅費の減額					
事業費	A	1,090	1,000	1,008	1,151	1,086
人件費	B	1,834	1,834	1,834	1,834	1,834
総コスト(C=A+B)		2,924	2,834	2,842	2,985	2,950
正規職員(1年間の従事人数)		0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	305	191	157	101	253
市の財政負担(=C-D-E)		2,619	2,643	2,685	2,884	2,697

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	広島平和記念式典参加者数	人	15	15	15	22	15
	指標の定義・説明	広島平和記念式典へ派遣した市民の数					
成果	平和標語応募数	点	240	239	234	266	270
	指標の定義・説明	小中学校の児童生徒を対象とした平和標語の応募作品数					
成果	埼玉県平和資料館等見学会参加者数	人	13	15	13	2	15
	指標の定義・説明	埼玉県平和資料館及び丸木美術館見学会に参加した市民の数					
活動	原爆写真展の開催	箇所	3	3	2	3	3
	指標の定義・説明	原爆写真展を開催した場所の数					
指標に基づく評価	戦争の体験や記憶が風化しつつある中、平和意識の高揚を図るためには継続して事業を実施し、平和の尊さ・大切さを認識してもらうことが必要である。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
平成24年度は市制施行90周年記念事業に位置づけ、広島平和記念式典へ中学生を派遣し、埼玉県平和資料館等見学会では、親子を対象として事業を実施した。今後も老若男女問わず、若い世代も含め平和意識の高揚を図るための施策をさらに推進することが必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
平和施策の取組は、自治体によって様々な事業を展開している。中でも広島平和記念式典市民派遣事業は、県内市では、7市(平成24年度現在・本市除く)が実施しており、派遣人数は2名~15名で、ほとんどが中学生を対象としている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
平和基金設置自治体として、また、平和都市宣言都市としての市の責務を放棄することになりかねず、平和に対する市の方針・姿勢がイメージダウンとなってしまうことが想定される。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		総務部				総務課	総務担当
事務事業名称		24	10	01	00	平和施策	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					